

令和6年度郷土を愛する心を育む教育についての取組 武雄市教育委員会

武雄市の古きよきもの・新しきよきもの

- ・町の中心には、開湯以来1300年経つ武雄温泉があり、この温泉には日本銀行や東京駅の設計を行った辰野金吾設計の楼門があり、国の重要文化財に指定されています。
- ・10月には市内各地で供日が行われます。その代表的な行事として平安時代から鎌倉時代にかけて盛んになった射術である流鏑馬が、神社の神事として今も行われています。
- ・武雄市図書館・歴史資料館が人気スポットとなり全国から多くの観光客が訪れています。
- ・令和4年には西九州新幹線の開業に伴い、「西九州のハブ都市」としての役割を担っています。



武雄市教育委員会所在地：武雄市武雄町大字昭和12-10
連絡先：(学校教育課) 0954-23-8010
学校数：小学校 11校 中学校 5校

武雄小学校の取組

武雄小学校は、武雄市のほぼ中央に位置し、周辺には武雄温泉駅や、いで湯の里武雄のシンボルである楼門があります。また、長崎街道も通っており、古くから宿場町として栄えてきました。

歴史と伝統を重んじる校風で、高学年は「柄崎太鼓」の踊りと太鼓演奏を30年来引き継いでいます。太鼓の指導には地域の有志で結成された「柄崎太鼓」の方に毎年ご協力いただき、児童は和太鼓の演奏にも力を注いでいます。



川登中学校の取組

川登中学校は武雄市東川登町と西川登町を校区に持ち、自然環境に大変恵まれた場所に位置しています。純朴で勤勉、融和性と共同性に富み、愛町心と団結力が強い町です。

本校生徒は、地域で代々受け継がれてきた伝統芸能である「荒踊」、「面浮立」、「綾踊」の担い手として、「荒踊」に欠かせない「笛」を、地域の保存会の方々に講師としてお招きし、総合的な学習の時間に勉強しています。一人ひとりのために心を込めて作っていただいた笛で練習し、学習成果発表会でその成果を披露することを通じて、地域に貢献し、誇りを持つ心を深めています。



市
の
名
所
・
旧
跡

川古の大楠



若木町にある川古の大楠は、全国第5位の巨木。樹齢3000年で国の天然記念物にも指定されており、大楠公園として整備されています。

武雄温泉



武雄温泉は1300年前の書物にも出てくる歴史ある温泉です。伊達政宗やシーボルトも入浴したと言われています。武雄温泉新館及び楼門は国の重要文化財です。